

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 中山 長藤
 直通：092-643-3597
 内線：3066

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第39週（令和6年9月23日～令和6年9月29日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・マイコプラズマ肺炎の報告数が例年より多く推移しています。本疾患は、肺炎マイコプラズマという細菌の感染によって起こる呼吸器感染症です。小児や若い人の報告が多い疾患ですが、成人の報告もみられます。潜伏期間は通常2～3週間で、初期症状は、発熱、全身倦怠感、頭痛等です。咳は、初期症状出現後3～5日で始まることが多く、解熱後も長く（3～4週間）続きます。咳が長引く等の症状がある場合は、かかりつけ医等の医療機関に電話で相談の上、受診してください。予防のため、普段から流水と石けんによる手洗いをすることが大切です。また、感染した場合は、家族間でもタオルの共用は避け、咳の症状がある場合にはマスクを着用する等“咳エチケット”を守りましょう。
- ・福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	14	664	191	11,015
腸管出血性大腸菌感染症	2	126	109	2,617
レジオネラ症	1	51	52	1,660
カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	97	27	1,545
急性脳炎	1	19	2	394
後天性免疫不全症候群	1	43	9	717
侵襲性肺炎球菌感染症	1	78	16	1,786
梅毒	14	640	178	10,452
百日咳	2	88	105	1,697

■ 定点把握疾患報告数

警報レベル

注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	371	1.87	0.79	21,400	4.35
インフルエンザ	106	0.54	1.09	2,725	0.55
RSウイルス感染症	33	0.28	0.61	1,423	0.46
咽頭結膜熱	17	0.14	0.65	793	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	479	3.99	0.93	5,579	1.78
感染性胃腸炎	364	3.03	0.90	7,738	2.47
水痘	32	0.27	0.94	469	0.15
手足口病（警報レベル）	781	6.51	1.05	24,298	7.77
伝染性紅斑	5	0.04	0.71	516	0.17
突発性発しん	39	0.33	1.00	792	0.25
ヘルパンギーナ	40	0.33	0.70	1,559	0.50
流行性耳下腺炎	5	0.04	1.00	130	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	8	0.01
流行性角結膜炎	5	0.19	2.50	281	0.41
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	8	0.02
無菌性髄膜炎	1	0.07	0.50	24	0.05
マイコプラズマ肺炎	20	1.33	1.18	712	1.48
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	3	0.01

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。